

平成23年度 第3回 CCC 体育学グループ運営委員会 議事概要

I. 日時 : 平成23年9月26日(月) 16:00～

II. 場所 : 私立大学情報教育協会事務局会議室

III. 出席者: 石塚委員, 手塚委員, 田附委員

(事務局) 井端事務局長, 森下主幹, 松本職員

IV. 検討内容

1. 前回の検討を踏まえて学士力の実現に必要な ICT を活用し教育改善の授業モデルを検討した。

2. 体育学の教育改善モデル1について

(1) 提案の概要

委員から教育改善モデル1について資料を基に報告があり、授業モデルの提案対象は、一般体育ではなく体育・スポーツ科学専門教育が対象であること、「他者との関わりの中でスポーツや身体運動による効果と快の気分を実感し、その仕組みを理解することによって将来にわたる心身共に健康なライフスタイルにつながる体力づくりとストレスマネジメントができる態度を身につける」ことを目指し、運動を通じたコミュニケーション能力を高めるだけではなく、さらにそれを指導に展開できるモデルであることの説明があった。

(2) 検討内容

- ① 到達目標を、21年度作成の学士力の到達目標の内、「身体運動の効果を体感することにより、心身ともに充実したライフスタイルを送ることができる」を実現するための教育モデルとした。
- ② 到達度として学生が身につける能力を学士力の到達目標に合わせて①～⑤とした。
- ③ 授業のねらいとしては、到達度に掲げた能力を達成する授業の一例、到達度の達成の困難な背景と困難を克服するための授業の提案を行うこととし、現代社会の課題である絶対的な身体運動の欠如、様々なストレスへの対処、対人関係などのコミュニケーション能力の課題に対して身体運動を通して心身のセルフマネジメント能力が発揮でき、社会にその方法を発信できる能力を身につけることを目標とした。
- ④ 授業の仕組みとICTを用いた授業シナリオは、卒業時点での学習の成果達成を目指す授業の仕組みと学習到達度の評価方法を検討した。
 - ・ 卒業するまでの学習期間を通じた授業改善モデルとする。
 - ・ 初めて体験するチームスポーツを用いて、身体運動を通してのコミュニケーション能力の醸成を行い、チーム共通の達成目標に対してのディスカッション、ポートフォリオ、教員や学生相互の意見交換で力を付けさせる。
- ⑤ ICTを用いた学習内容
提案する授業の一例として、ICTの活用の学習内容・方法のイメージの一例を検討した。
- ⑥ この提案の授業モデルで期待される効果を検討した。

3. 体育学の教育改善モデル2について

前回までの検討を踏まえて、委員から教育改善モデル2について説明があり、見直しを行なった。

(1) 提案の概要

スポーツ競技に関わる知識を習得し、それを基底とした多年にわたる戦略的なトレーニング計画の作成や、実施内容の評価を行えるようにするとともに、様々なスポーツの運動技能を身につけ、地域社会や学校などで、その振興や普及を担うことができるようにすることを目指す。種目や団体種目の違いはあるが、提案の授業モデル案は概ねすべてのスポーツ種目に適応できる。

(2) 議論とまとめは、以下の通りである

- ① 授業のねらいを競技スポーツの裾野を広げ、国際的な競技力の向上を図るためには、高度なスポーツ指導者と市民レベルでのスポーツ指導者の存在は不可欠なものである…に幅広く捉え修正した。
- ② 授業の仕組みをスポーツ科学の知識を総合的に活用して、トレーニングの計画や評価を行うために、医学、栄養学、社会学などの関連分野との連携が前提となることの視点を入れた。
- ③ 授業シナリオを授業のイメージがわかりやすいよう表現を検討し変更した。
- ④ 学習内容・方法以下を整理し、表現を箇条書きにし、わかりやすく変更した。

4. 体育学の教育改善モデル（案）について

別紙のモデル1. 2. にまとめた

5. 今後の予定

本日作成した体育学の教育改善モデル（案）1. 2. について、1 週間程度の間で見直し、サイバーFD研究員にアンケートし意見を求める。

6. 次回の開催予定

日時：平成23年11月頃 日程はメールで調整する。

場所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室